

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	風の子びれっじ鎌倉 単位1 (そよ風クラス)		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 8日		～ 令和 8年 2月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	令和 8年 2月 16日		～ 令和 8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	少人数の受け入れをしているため、個々のペースや課題に沿いながら手厚く支援を行っている。	メンバーさんの成長段階に合わせた活動内容の実施を行っている。 また、支援者1人に対してメンバーさんを2人以内の配置を行いしっかりと見守り・関われる環境を作っている。	個々の課題や必要なサポートを保護者様と共有・確認を行いながら事業所でできる支援を行っています。
2	放課後等デイサービスとの多機能型のため就学や移行のサポート・練習の実施ができる。	就学を控えるメンバーさんに対して文字に興味を持ってもらえるよう好きなキャラクターの名前を書く練習や自分の名前を書く練習を取り入れています。 また、エスカレーター式でご利用ができるため、祝日などのご利用時間が重なる際に、デイサービスの活動にして頂いたり、1日過ごしていただき練習を行っています。	移行の練習機会が少ないため、メンバーさんの環境変化への順応性を見て早い段階から練習を積んでいく。
3	敷地内に「かぜっこ広場」があるため、活動や余暇時間を通して身体を目一杯動かしたり、気分転換を図ることができる。	シャボン玉やトランポリン、滑り台、ボール遊び、追いかけてごなど、個々に遊びたい遊びができるようにしている。	ご利用されるメンバーさんの興味を把握し、興味に合わせた遊具や用具を用意していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団での療育が難しい。	放課後等デイサービスとの多機能型で少人数の受け入れを行っているため。	少人数の中でも集団を意識したプログラムの実施を行い、協調性等を養っていく。
2	「ペアレントトレーニング」等、家族が参加できる研修の場を提供できていない。	支援に対する個別アドバイスは行っているが、職員がペアレントトレーニングの研修参加ができておらず、ペアレントトレーニングを行える体制が整っていない。	ペアレントトレーニングの研修や勉強会に参加していく。
3			